

決 算 額	財 源			内 訳
	国県支出金	地 方 債	そ の 他	
467,559,857 円	円	円	25,535,966 円	442,023,891 円

2 一般管理事業

予算現額 52,421,000 円
 事業決算額 49,645,342 円
 予算執行率 94.7 %

保健センター施設の管理運営及び保健衛生事業を行った。また、市内医療従事者の安定確保を図るために看護師養成所の運営の補助をはじめ、各保健事業団体との連携を図った。

(1) 保健センター管理運営事業

河芸保健センター、美里保健センターの適切な管理運営を行うとともに、保健センター施設の使用許可業務を行った。（中央、河芸、芸濃、美里、安濃、香良洲、一志、白山）

各保健センターの概要

	中央	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉
延床面積 (m ²)	653.2	290.5	564.2	1138.0	992.9	1026.0	420.2	904.7	1657.0	90.2
利用者数 (人)	12,479	6,739	6,887	9,166	26,107	17,564	11,607	12,186	3,709	838

※複合施設の場合、延床面積には共有部分を含む。

※利用者数の主なものは、教室等事業参加者数及び施設利用者数。

(2) 保健事業関係団体との連携等

保健事業の推進のため、関係団体の育成を図り、連携及び調整に努めた。

担当 中央保健センター

3 救急医療事業

予算現額 83,234,000 円
 事業決算額 75,929,411 円
 予算執行率 91.2 %

医療行政の一環である地域救急医療を円滑かつ迅速に推進するため、救急医療業務に努めた。

(1) 一次救急医療体制事業

日曜日、祝日、年末年始及び平日夜間における救急医療業務の確保と住民に対する救急医療知識の普及啓発を行った。

(2) 二次救急医療体制事業

日曜、祝日、年末年始及び夜間において、入院医療、手術あるいは専門的な治療を必要とする重症救急患者の医療確保に努めた。

(3) 救急医療情報システム整備事業

夜間などにおける市民の急病時に、救急医療機関を紹介する地域救急医療情報センター事業に参加、整備を図った。

担当 中央保健センター

款 4 衛生費 項 1 保健衛生費 目 2 予防費

決算額	財 源 内訳		
	国県支出金	地方債	その他の一般財源
1,424,273,574 円	164,491,536 円	円	95,229,096 円 1,164,552,942 円

1 予防衛生事業	予算現額 325,611,000 円 事業決算額 320,970,909 円 予算執行率 98.6 %																				
感染症の抗体保有率を向上させ、感染の流行を防ぎ健康維持を図るため、予防接種事業に努め、また、結核予防のため予防接種等を実施し、胸部レントゲン検診により結核の早期発見に努めた。これらの予防接種及び結核検診を進めることにより、感染の流行を防ぎ、市民の健康維持につなげた。																					
(1) 予防接種																					
一類 … ジフテリア・百日せき・破傷風（三種混合）、ジフテリア・破傷風（二種混合）、ポリオ、麻しん・風しん（経過措置を含む）、MR1期・MR2期（平成18年度新規、MR：麻しん、風疹混合ワクチン）、日本脳炎																					
二類 … インフルエンザ																					
(2) 結核予防																					
BCG予防接種及び胸部レントゲン検診																					
予防接種者数及び結核検診受診者数																					
〈乳幼児〉																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ポリオ</th> <th>三種混合</th> <th>MR1期</th> <th>MR2期</th> <th>麻しん1期</th> <th>麻しん2期</th> <th>風しん1期</th> <th>風しん2期</th> <th>日本脳炎1期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接種者数（人）</td> <td>5,094</td> <td>9,924</td> <td>2,700</td> <td>2,375</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>155</td> <td>4</td> <td>3,003</td> </tr> </tbody> </table>			ポリオ	三種混合	MR1期	MR2期	麻しん1期	麻しん2期	風しん1期	風しん2期	日本脳炎1期	接種者数（人）	5,094	9,924	2,700	2,375	12	1	155	4	3,003
	ポリオ	三種混合	MR1期	MR2期	麻しん1期	麻しん2期	風しん1期	風しん2期	日本脳炎1期												
接種者数（人）	5,094	9,924	2,700	2,375	12	1	155	4	3,003												
〈児童〉																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>二種混合</th> <th>MR1期</th> <th>麻しん2期</th> <th>風しん1期</th> <th>日本脳炎2期</th> <th>BCG</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接種者数（人）</td> <td>1,908</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>157</td> <td>2,338</td> </tr> </tbody> </table>			二種混合	MR1期	麻しん2期	風しん1期	日本脳炎2期	BCG	接種者数（人）	1,908	3	1	2	157	2,338						
	二種混合	MR1期	麻しん2期	風しん1期	日本脳炎2期	BCG															
接種者数（人）	1,908	3	1	2	157	2,338															
〈その他〉																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>高齢者インフルエンザ</th> <th>BCG</th> <th>胸部レントゲン検診</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接種者数（人）</td> <td>34,845</td> <td>2,338</td> <td>4,606</td> </tr> </tbody> </table>			高齢者インフルエンザ	BCG	胸部レントゲン検診	接種者数（人）	34,845	2,338	4,606												
	高齢者インフルエンザ	BCG	胸部レントゲン検診																		
接種者数（人）	34,845	2,338	4,606																		
担当 中央保健センター																					
2 母子保健事業	予算現額 97,754,000 円 事業決算額 96,007,723 円 予算執行率 98.2 %																				
安心して妊娠、出産、育児ができ、次代を担う子どもたちの心身の健全な発育、発達を図るために、妊婦や家族と妊娠早期から関わり、出産後の育児がスムーズに行えるように努めた。																					
そのため、母子健康手帳の交付を出来る限り保健師が行い、母子保健制度等を紹介するとともに、第一子については保健師等が家庭訪問を行った。																					
また、妊娠期から乳児健康診査、幼児健康診査について一貫した健康管理システムの整備のもと、適切な保健指導を実施していく一方、出産、育児をめぐる親の負担が増えていることから、育児教室、健康相談等を通して育児支援を行うなど、市民サービスの維持向上に努めた。																					

(1) 各健康診査の実施状況

区分	受診者数(人)	受診率(%)
妊婦健康診査	延べ 4,761 (前期・後期)	96.0
4か月児健康診査	2,314	91.9
10か月児健康診査	2,226	86.9
1歳6か月児健康診査	2,428	96.7
3歳児健康診査	2,441	93.9

(2) 健康教育等の実施状況

区分	人数(人)	内容
健康教育	1,810	妊婦教室、2歳児歯科教室、離乳食教室、育児教室等
健康相談	4,369	乳幼児健康相談、心理相談、栄養相談等
家庭訪問	延べ 741	
母子健康手帳の交付	2,480	
母子保健推進員活動	延べ 1,833 延べ 187	妊婦乳幼児訪問 教室協力

担当 中央保健センター

3 健康診査事業

予算現額 1,062,864,000 円
事業決算額 990,226,433 円
予算執行率 93.2 %

がん、脳卒中、心臓病などの生活習慣病を早期発見するため、健康診査を行った。

平成18年度より、介護予防を図るため、65歳以上を対象に、生活機能に関する問診、血清アルブミン検査等を加えた健診内容で実施している。国の方針を踏まえながら、健（検）診の精度管理に努めた。

(1) 各種健（検）診の受診者数

集団基本健診においては、健診当日、受診者全員に保健師が保健指導を実施し、自己の健康管理への支援をしている。

また、健診結果により、糖・脂質の要指導者に対しては、健康づくり事業予算にて、事後のフォローを行っている。健（検）診結果は、パソコンにてデータ管理している。

区分	受診者数(人)	受診率(%)
基本健康診査	36,940	29.7
胃がん検診	19,462	23.3
子宮がん検診	7,609	11.9
乳がん検診	9,943	18.1
肺がん検診	28,262	33.9
大腸がん検診	25,443	30.5
肝炎ウイルス検診	10,322	38.1
前立腺がん検診	1,683	38.9

担当 中央保健センター

4 健康づくり事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	19,600,000 円 17,068,509 円 87.1 %
-----------	------------------------	--

健康相談においては、医師、歯科医師、保健師、栄養士等が心身の健康に関する個別の相談に応じた。健康教育においては、健康づくりの正しい知識を普及啓発するために、壮中年期を対象としたリフレッシュ教室・歯周病予防教室、骨粗鬆症予防教室をはじめ、老人会等団体の依頼による生き生き健康サロン等の健康教室を実施するほか、歯の健康展、健康まつり等において健康づくりの意識高揚を図るように啓発活動を行った。

また、食生活改善推進員、健康づくり推進員の養成講座も実施し、地域ぐるみの健康づくりを進めた。基本健康診査の事後指導として、再検査と健康相談、個別健康教育、集団健康教育等を実施し、生活習慣を見直す機会とした。

生活習慣病予防、健康づくり等に関する正しい知識の普及、生活習慣の改善を図り、健康づくり計画に基づき、市民自らが健康づくりに取り組めるように支援に努めた。

(1) 健康づくり計画の策定

本市の健康づくりを推進するにあたって、基本的な考え方を明らかにするとともに、自らの健康づくり、地域の取組み、また、行政の取組みについての具体的な目標を設定し、これらの目標達成に向けての実施計画について策定を行い、冊子を作成、配布した。

また、冊子を簡単明瞭化し、市民に親しみやすく見てもらうため、概要版を作成、配布した。

(2) 元気づくり事業 「ぐるっと一周健康めぐり」 の実施

合併初年度に合わせて旧市町村単位で培ってきた健康づくりを紹介し、既存の施設と自然環境を活かした健康まつりや講演会、ウォーキングなど「健康」をキーワードに20の事業をスタンプラリーでつないだ。開催期間中のスタンプ数によって「ぐるっと大賞」、「元気づくり賞」、「健康づくり賞」を授与した。さらに、地域を巡った感想や体験文を募り、平成19年3月に表彰式を開催した。

開催日時： 平成18年10月8日～平成19年2月28日
 開催場所： 市内全域（旧市町村単位）
 参加者数： 約12,300人（20事業）

担当 中央保健センター

款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 3 診療所費	
決 算 額	財 源		
	国県支出金	地 方 債	内 訳
176,055,745 円	12,380,000 円	87,900,000 円	72,381,410 円
			3,394,335 円

1 応急診療所管理運営事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	211,936,000 円 176,055,745 円 83.1 %
---------------	------------------------	--

住民の健康保持増進を図るため、休日における急病患者の応急診療を行った。また、近年においては、核家族化・少子化等により、子どもの異常に気づくことが夜間となるケースや、育児不安による受診や電話相談が夜間に増加していることなどから、休日応急・夜間子ども応急クリニックにおいて小児科専門医による応急診療も毎夜間行っている。

診療科目別利用状況

(人)

診療所	内科	小児科	外科	歯科	合計
津市休日応急・夜間こども応急クリニック	607	7,249	18	172	8,046
津市久居休日応急診療所	523	703	7		1,233

(1) 津市休日応急・夜間こども応急クリニック移転整備事業（繰越明許）

休日応急・夜間こども応急クリニックについては、小児救急における二次医療機関への迅速な搬送を可能とするため、大里窪田町にある国立病院機構三重病院敷地内へ移転、平成18年11月1日より診療を開始した。

工事名	施工場所	工事内容	事業費(円)
津市休日応急・夜間こども応急クリニック移転整備工事	大里窪田町	鉄骨造平屋建 350.31m ²	99,256,500

担当 中央保健センター

款 4 衛生費 項 2 斎場費 目 1 斎場費

決算額	財源内訳			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
93,441,649 円	円	円	34,292,807 円	59,148,842 円

2 斎場業務管理運営事業

予算現額 82,116,000 円
 事業決算額 73,476,704 円
 予算執行率 89.5 %

市営の葬祭施設の適正な管理運営を行うとともに、公衆衛生その他の公共の福祉及び市民サービスの充実等の見地から、火葬業務及び靈柩自動車の運行業務等を行っている。

また、第二青谷集会所において、公共下水道への接続工事を実施した。

斎場名	火葬実績	靈柩車利用実績	葬儀場利用実績	犬・猫等ペットの火葬
津斎場	1,963	1,195	46	2,335
久居斎場	449	320		
香良洲斎場	57	25		
美杉地区6火葬場	97	0		

公共下水道接続工事

工事名	施工場所	工事内容	事業費(円)
第二青谷集会所下水道接続工事	半田	公共下水道接続	562,567

担当 市民課

款 4 衛生費

項 3 環境費

目 1 環境総務費

決算額	財 源 内 訳		
	国県支出金	地方債	その他の内訳
517,004,839 円	9,880,000 円	円	19,709,084 円 487,415,755 円

2 環境総務事務事業

予算現額	7,862,000 円
事業決算額	6,870,314 円
予算執行率	87.4 %

市民の環境への関心を高める一環として環境フェアの開催や、子どもたちの自主的な環境活動への参加を目的としたこどもエコクラブの拡充、元気づくり事業の実施等、環境政策の企画及び推進を行った。

(1) 森の恵み体感&実践事業【元気づくり事業】

三重県（環境森林部）、三重大学、中勢森林組合のほか、森林関係NPOと共に共催・連携して実施し、市民の森林に対する理解を深め、森林をはじめとする自然環境保全への市民の自主的な参加意識の醸成を図った。

森の恵み体感子ども塾

開催日時：平成18年8月19日

開催場所：津市美杉総合開発センター及び美杉地域の森林部

参 加 者：小学校高学年（4～6年生）及びその保護者 17組34人

森の恵み実践塾

開催日時：平成18年11月18日～19日

開催場所：三重大学演習林（美杉町川上）

参 加 者：森林体験活動に関心のある18歳以上の方 33人
(うち16名は2日目のフォーラムのみ参加)

(2) ストップザ温暖化、元気・環境交流事業【元気づくり事業】

地球温暖化の原因である二酸化炭素の濃度を測定し、これらの測定、情報交換等を通じた環境学習の交流を目的として、二酸化炭素濃度測定器を設置している3校（2小中学校、1高等学校）に加え、新たに2校（1小学校、1中学校）に設置し、測定ネットワークの拡充を進めるとともに、家庭でできる温暖化対策講座を行った。

(3) 環境フェア開催実施事業

市民、事業者、市が協働して環境と共生する社会の実現を目指し、ごみの減量化及びリサイクルの推進、自然環境保全活動への積極的な参加等、環境に対する市民の自主的・主体的な取組が広がるよう市民意識の高揚を図ることを目的として下記のとおり実施した。

なお、合併後、初回の事業であり、環境フェア実行委員会には、市内各地域からの参加も得て、23名の実行委員を中心に市民主体による事業を実施することができた。

つ・環境フェア

開催日時：平成18年12月10日

開催場所：津市モーターボート競走場

参 加 者：約9,000人

(4) 公衆浴場組合補助金交付事業

公衆浴場は、日常生活に不可欠な施設であるにもかかわらず、近年、経営不振を理由に減少しつつあることから、市民の利用の機会の確保を図り、公衆衛生の向上に寄与することを目的として、津市公衆浴場に対する補助金交付要綱に基づき、浴場に要した水道料金相当額の2分の1を限度として、津市公衆浴場組合に対し下記のとおり補助金を交付した。

区分	事業者数	決算額(円)
公衆浴場組合補助金	12	3,500,000

担当 環境政策課

3	新エネルギー利用推進事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	26,171,000円 22,521,397円 86.1%
---	--------------	------------------------	-------------------------------------

新エネルギーの利用等の促進に関する基本的な方向を示す指針として、津市地域新エネルギービジョンを策定した。また、家庭用新エネルギー利用設備設置費補助金交付事業の実施、新エネルギー学習会の開催等、新エネルギーの利用促進を図った。

(1) 新エネルギービジョン策定事業

新エネルギーの利用等の促進が地域の地球温暖化対策を推進する上で重要な役割を担うという認識にたち、新エネルギーの利用等の促進の基本的な方向を示すとともに、新エネルギーを効果的に利用するための指針として、平成19年2月に津市地域新エネルギービジョンを策定した。なお、当該ビジョンの策定に当たっては、学識経験者や市民にて構成する検討懇談会を設置し、市民参加により検討を行った。

(2) 家庭用新エネルギー利用設備設置費補助金交付事業

環境への負荷の少ない新エネルギーの導入を促進するため、津市家庭用新エネルギー利用設備設置費補助金交付要綱を制定し、住宅用太陽光発電システム及び小型風力発電システム1件当たり120,000円、二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器1件当たり20,000円、家庭用ガスエンジン給湯器1件当たり50,000円の補助金を下記のとおり交付した。

補助金交付実績

区分	補助件数(件)	決算額(円)
住宅用太陽光発電システム	121	14,520,000
小型風力発電システム	1	120,000
二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器	78	1,560,000
家庭用ガスエンジン給湯器	0	0
合計	200	16,200,000

担当 環境政策課

4	環境マネジメントシステム推進事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	2,085,000円 1,426,954円 68.4%
---	------------------	------------------------	-----------------------------------

平成14年9月に旧津市にて認証取得したISO14001規格に基づく環境管理マニュアルを運用・管理し、その認証を残し、認証維持のための定期審査を受審し、平成18年10月に登録の継続が承認された。

また、内部環境監査員を養成するとともに、平成19年1月から環境管理システムの対象を拡大するため、平成18年12月に環境管理マニュアルを改訂した。

担当 環境政策課

款 4 衛生費

項 3 環境費

目 2 環境保全費

決算額	財 源 内 訳			
	国県支出金	地方債	その他の内訳	一般財源
232,666,237 円	139,147,000 円	円	8,928,522 円	84,590,715 円

1 環境保全事務事業

予算現額	13,143,000 円
事業決算額	11,144,943 円
予算執行率	84.8 %

市民の生活環境を保全するとともに、環境への理解を深めるため、環境教育の推進、生活排水対策の啓発及び不法投棄廃棄物の撤去等を行った。

(1) 環境教育事業

小学生等を対象にホタル観察会及び環境月間記念植樹を実施し、保護者と一緒に学童期から自然に対する感性や環境を大切に思う心を育むよう環境教育を行った。

ホタル観察会

開催日時：平成18年6月3日

開催場所：片田地区

参 加 者：小学生及びその保護者 30組81人

環境月間記念植樹

開催日時：平成18年6月17日

開催場所：白銀環境清掃センター

参 加 者：日本ボーイスカウト三重連盟津協議会（ボーイスカウト・ガールスカウト・指導者・保護者） 115人

(2) 不法投棄廃棄物是正業務実施事業

美杉町太郎生地内において、県から1/2の補助を受け、不法投棄廃棄物を撤去し、現地地形を災害時の崩壊に備えるとともに、車両が進入し、新たに不法投棄できないように地形整備を行った。

委託業務実績

区分	撤去量 (m ³)	決算額 (円)
不法投棄廃棄物是正業務	194	9,660,000

担当 環境保全課

2 環境調査事業

予算現額	16,269,000 円
事業決算額	13,632,921 円
予算執行率	83.8 %

大気、水質、騒音等の環境調査を実施するとともに、環境保全協定の締結、事業所等の監視、指導を行った。また、市民からの公害に係る相談及び苦情処理等を行った。

(1) 大気環境調査業務実施事業

市内において、簡易測定法による硫黄酸化物及び二酸化窒素の継続的な調査を実施し、大気環境の状態を確認した。また、調査結果を市ホームページに登載し、市民に情報を提供した。

委託業務実績

区分	調査箇所	調査回数 (回)	決算額 (円)
大気環境調査業務	24	12	1,171,227

(2) 水質環境調査業務実施事業

市内の河川及び海域において、公共用水域の水質環境の状態を確認した。また、調査結果を市ホームページに登載し、市民に情報を提供した。

委託業務実績

区分	調査場所	調査箇所	調査回数(回)	決算額(円)
水質環境調査業務	河川	56	1~12	3,543,855
	海域	12	4	

(3) 工場排水水質分析・農薬等分析業務実施事業

工場等から発生する公害を防止するとともに、環境保全に関する協定を締結している工場等及び市内のゴルフ場等に対し立入をし、工場排水及び生活排水の水質、ゴルフ場からの放流水及びゴルフ場等の調整池の農薬を監視した。

委託業務実績

区分	対象事業者数	調査回数(回)	決算額(円)
工場排水水質分析業務	23	1~2	222,852
農薬等分析業務	11	2	794,850

(4) ダイオキシン類測定業務実施事業

市内においてダイオキシン類を測定し、大気環境、水質環境、土壤環境等に含まれるダイオキシン類の状況を確認した。また、調査結果を市ホームページに登載し、市民に情報を提供した。

委託業務実績

区分	調査場所	調査箇所	調査回数(回)	決算額(円)
ダイオキシン類測定業務	大気	12	1~2	5,554,500
	水質	20	1~2	
	土壤	10	1	

担当 環境保全課

3 淨化槽事業

予算現額 217,746,000 円
事業決算額 207,888,373 円
予算執行率 95.5 %

浄化槽の普及を進めることで、生活排水の排出による公共用水域の水質汚濁の防止を図るとともに、公衆衛生の向上及び生活環境の保全をするため、浄化槽の設置に係る補助金交付等を行った。

(1) 浄化槽設置整備補助金交付事業

本市の区域内における浄化槽の整備を促進するため、津市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づき、下記のとおり補助金を交付した。

補助金交付実績

区分	補助件数(件)	決算額(円)
5人槽	220	83,800,000
7人槽	229	98,695,000
10人槽	10	5,190,000
合計	459	187,685,000

(2) 共同汚水処理施設修繕工事補助金交付事業

本市の区域内における共同汚水処理施設の適正な管理を図るため、津市共同汚水処理施設修繕工事補助金交付要綱に基づき、共同汚水処理施設に係る修繕工事を施行し、かつ、当該共同汚水処理施設を管理する団体に対し、下記のとおり補助金を交付した。

補助金交付実績

区分	団地数	決算額(円)
共同汚水処理施設修繕工事	7	3,841,000

担当 環境保全課

款 4 衛生費 項 3 環境費 目 3 環境衛生費

決算額	財源内訳		
	国県支出金	地方債	その他
12,103,642 円	円	円	1,638,936 円
			10,464,706 円

1 墓地管理事業

予算現額 5,425,235 円
事業決算額 5,217,482 円
予算執行率 96.2 %

墓地、埋葬等に関する法律に基づき、公衆衛生その他公共の福祉に供することを目的に、市営墓園の管理、運営を適切に行い、墓地等の経営許可等に関する事業を行った。

担当 環境保全課

2 犬猫適正飼育対策事業

予算現額 3,856,000 円
事業決算額 3,006,322 円
予算執行率 78.0 %

狂犬病予防法に基づく犬の登録、狂犬病予防注射済票の交付、登録台帳の管理を行った。また、動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、動物の適正飼育の啓発に努めた。

(1) 狂犬病予防対策業務実施事業

狂犬病予防法施行規則に基づき、4月に延べ31日間、市内157箇所の会場で狂犬病予防集会注射を実施した。また、動物病院で実施されたものについては各獣医師に業務委託を行った。

委託業務実績

区分	件数(件)	決算額(円)
狂犬病予防注射通知書作成業務	18,944	413,333

区分	種別	件数(件)	決算額(円)
犬登録鑑札交付等業務	登録	413	123,900
	注射済票交付	964	53,020

(2) 犬・猫避妊手術費等補助金交付事業

犬及び猫がみだりに繁殖することなく適正に飼育されることにより、住民の良好な生活環境を保持するため、津市犬及び猫の避妊手術費等補助金交付要綱に基づき、犬（雄）の去勢手術1頭につき1,500円、犬（雌）の避妊手術1頭につき3,000円、猫（雄）の去勢手術1匹につき1,500円、猫（雌）の避妊手術1匹につき2,000円を下記のとおり補助金として交付した。

補助金交付実績

区分	件数(件)	決算額(円)
犬（雄）	76	114,000
犬（雌）	144	432,000
猫（雄）	252	378,000
猫（雌）	514	1,028,000
合計	986	1,952,000

担当 環境保全課

3 そ族昆虫駆除事業

予算現額	4,376,765 円
事業決算額	3,879,838 円
予算執行率	88.6 %

そ族昆虫の発生を抑え、公衆衛生の向上と公共の福祉を図るため、地域での害虫発生を抑制するための消毒剤の配布及びハチ防護服の貸し出しを行い、公衆衛生の向上に努めた。

害虫発生抑制対策関係物品購入費

区分	品目	決算額(円)
ハチ防護服購入費	ハチ防護服	193,280
防疫用薬剤購入費	パンゾール、スミチオン等	3,345,756
合計		3,539,036

担当 環境保全課

款 4 衛生費

項 4 清掃費

目 1 清掃総務費

決算額	財源			内訳	
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,301,943,838 円	円	円	46,230,458 円	1,255,713,380 円	

2 清掃総務事務事業

予算現額	1,766,000 円
事業決算額	494,476 円
予算執行率	28.0 %

全国都市清掃会議北陸東海地区協議会、三重県市町村清掃協議会等における総会、幹事会での情報交換等調整業務、その他清掃関係全般にわたる総括業務を実施し、国、県、その他地方自治体との更なる連携体制が強化でき、また、清掃業務の円滑な事務処理を図った。

担当 環境政策課

3 ごみ減量対策事業

予算現額	69,423,000 円
事業決算額	55,585,491 円
予算執行率	80.1 %

市民、事業者に対してごみの分別排出の徹底等を啓発するため、ごみダイエット塾を開催し、また、子ども会など各団体を対象としたりサイクル資源回収活動報奨金の交付、生ごみ処理機等購入費補助金の交付等支援を行うことにより、ごみの減量化やリサイクルへの取組みを促進した。

(1) リサイクル資源回収活動報奨金交付事業

各団体の自主的な資源回収に対して助成することにより、一般廃棄物の減量化及び再資源化を推進するとともに、資源回収を通じて廃棄物処理に対する意識の高揚を図ることを目的として、津市リサイクル資源回収活動報奨金交付要綱に基づき、集団回収した資源（古紙類（新聞、雑誌、段ボール等）、金属類（アルミ缶、スチール缶等）、布類及びびん類）の重量1kg当たり6円を上限として、当該活動の実施団体に下記のとおり報奨金を交付した。

報奨金交付実績

区分	回収量 (kg)	実施団体数	決算額 (円)
古紙類	4,463,998	238	26,783,988
金属類	29,467		176,802
びん類	12,625		75,736
布類	123,472		740,832
合計	4,629,562	238	27,777,358

(2) 生ごみ処理機等購入費補助金交付事業

日常生活に伴い生ずる生ごみのたい肥化又は減量化を図ることにより、ごみの排出を抑制し、もって廃棄物の減量及び生活環境の清潔に資するため、生ごみ処理機又はコンポスト容器の購入者に対し、津市生ごみ処理機等購入費補助金交付要綱に基づき、購入代金の額に2分の1を乗じて得た額（限度額：生ごみ処理機25,000円、コンポスト容器3,000円）を補助金として下記のとおり交付した。

補助金交付実績

区分	基 数 (基)	決算額 (円)
生ごみ処理機	292	6,906,600
コンポスト容器	30	78,700
合 計	322	6,985,300

(3) 不法投棄家電リサイクル処理事業

市内で不法投棄された廃棄物については、警察と連携して不法投棄者を摘発すべく対応しているが、民有地や投棄者不明などがあり、解決に苦慮している現状である。

従って、不法投棄者を特定できない物のうち、市有地内で不法投棄された家電4品目については、やむを得ず処理を行うため、特定家庭用機器再商品化法に基づき、下記のとおり不法投棄再商品等料金の支出を行った。

不法投棄再商品等料金支出実績

区分	単価 (円)	台 数 (台)	決算額 (円)
テレビ	2,935	203	595,805
	3,895	15	58,425
冷蔵庫	4,930	84	414,120
	5,969	11	65,659
洗濯機	2,620	76	199,120
	3,544	5	17,720
エアコン	3,775	25	94,375
合 計		419	1,445,224

担当 環境政策課

款 4 衛生費

項 4 清掃費

目 2 塵芥処理費

決 算 額	財 源			内 訳
	国県支出金	地 方 債	そ の 他	
2,292,672,095 円	円	26,800,000 円	1,000,446,647 円	1,265,425,448 円

1 清掃事務所管理事業

予算現額 13,242,203 円
 事業決算額 11,185,943 円
 予算執行率 84.5 %

環境事業課及び森清掃事業管理センターの事務所、作業員棟の施設及び設備等について、直営による家庭ごみ収集運搬業務の拠点施設としての機能が有効に果たせるよう、効率的な予算執行により施設の管理を行った。

担当 環境事業課

2 ごみ収集事業

予算現額 479,786,095 円
 事業決算額 464,982,286 円
 予算執行率 96.9 %

家庭ごみの収集運搬業務を直営及び民間委託により実施するとともに、各地域におけるごみ一時集積所への不法排出の防止、ごみの分別排出マナーの啓発、ごみ一時集積所の適正な配置等、ごみの分別収集の徹底を推進し、車載用無線機等の有効活用により効率的な収集業務を図った。

また、自治会が管理しているごみ一時集積所の設置等に対し、補助金交付事業を実施した。

(1) ごみ分別排出マナー啓発事業

自治会等に対して、ごみダイエット塾を開催するとともに、チラシ等で市民にごみの分別・排出マナーの徹底を啓発した。

(2) ごみ一時集積所設置等事業補助金交付事業

ごみ一時集積所を設置等することにより、ごみの効率的な収集を行うとともに、市民の美化意識の高揚、公衆衛生の向上及び生活環境の保全に寄与することを目的として、津市ごみ一時集積所設置等事業補助金交付要綱に基づき、事業費の額に3分の1を乗じて得た額（限度額：150,000円）を補助金として、下記のとおり交付した。

補助金交付実績

区 分	件 数 (件)	決算額 (円)
ごみ一時集積所	38	2,596,000

(3) ごみ収集運搬業務実施事業

各地域の収集計画に基づきステーション方式により、ごみの種類別、地域別に直営及び民間委託にて実施した。

委託業務実績

区 分	件 数 (件)	決算額 (円)
ごみ収集運搬業務	16	410,778,450

(4) 家庭ごみ収集カレンダー作成事業

ごみの分別方法や収集日程等を掲載する家庭ごみ収集カレンダーの作成について、全地域分を一括にて発注することにより、経費の縮減を図った。

印刷物発注実績

区分	単価(円/枚)	枚数(枚)	決算額(円)
家庭ごみ収集カレンダー	13.6	164,200	2,344,776

担当 環境事業課

3 ごみ収集車両管理事業

予算現額	55,237,702 円
事業決算額	51,030,955 円
予算執行率	92.4 %

ごみ収集車両等の定期的な点検、車検の実施、及び迅速な修繕等、適正な維持管理に努め、安全な運行を確保し、収集業務の効率化を図った。

担当 環境事業課

4 ごみ処理施設管理運営事業

予算現額	1,838,005,000 円
事業決算額	1,765,472,911 円
予算執行率	96.1 %

市内の家庭や事業所から排出された燃やせるごみを西部クリーンセンター、クリーンセンターおおたか、河芸美化センターの3つの施設において、適正に焼却処理し、また、市内の家庭や事業所から排出された不燃ごみ、資源ごみを白銀環境清掃センターにおいて、それぞれ埋立処分、またはリサイクルを実施した。また、効率的で安全な施設の運転管理及び維持管理を行った。

(1) ごみ処理施設管理運営事業（西部クリーンセンター）

西部クリーンセンターの効率的な運転管理を実施し、施設及び設備の保守点検をはじめ適正な維持管理を行うとともに、地元等との調整を図りつつ、津市（津、芸濃地区）の家庭や事業所から排出された燃やせるごみの処理を衛生的かつ適正に行った。

ごみの処理状況

処理対象地域	区分	搬入量(t)	決算額(円)
津市の一部	家庭系ごみ	34,052	774,537,248
	事業所ごみ	24,664	

(2) ごみ処理施設管理運営事業（河芸美化センター）

河芸美化センターの効率的な運転管理を実施し、施設及び設備の保守点検をはじめ適正な維持管理を行うとともに、地元等との調整を図りつつ、津市（河芸地区）の家庭や事業所から排出された燃やせるごみの処理を衛生的かつ適正に行った。

ごみの処理状況

処理対象地域	区分	搬入量(t)	決算額(円)
津市の一部	家庭系ごみ	4,047	103,090,658
	事業所ごみ	987	

(3) ごみ処理施設管理運営事業（安芸美清掃センター）

安芸美清掃センターは平成18年1月の市町村合併により、同年3月31日をもって用途廃止となつたが、その後の跡地利用が決まっていないことから、それまでの間、存続する建物及び施設の安全対策等の維持管理を行つた。

ごみの処理状況

処理対象地域	区分	搬入量(t)	決算額(円)
	家庭系ごみ		1,196,765
	事業所ごみ		

(4) ごみ処理施設管理運営事業（クリーンセンターおおたか）

クリーンセンターおおたかの効率的な運転管理を実施し、施設及び設備の保守点検をはじめ適正な維持管理を行うとともに、地元等との調整を図りつつ、津市（久居、香良洲、一志、白山、美杉、美里、安濃地区）及び松阪市（嬉野、三雲地区）の家庭や事業所から排出された燃やせるごみの処理を衛生的かつ適正に行つた。

ごみの処理状況

処理対象地域	区分	搬入量 (t)	決算額 (円)
津市の一部	家庭系ごみ	17,180	351,147,003
	事業所ごみ	8,147	
松阪市の一部	家庭系ごみ	6,041	
	事業所ごみ	2,586	

(5) ごみ処理施設管理運営事業（白銀環境清掃センター）

白銀環境清掃センターの効率的な運転管理を実施し、施設及び設備の保守点検をはじめ適正な維持管理を行うとともに、地元等との調整を図り、津市及び松阪市（嬉野地区）の家庭や事業所から排出された不燃ごみの最終処分及び資源ごみのリサイクルを衛生的かつ適正に行つた。

不燃ごみの処理状況

処理対象地域	区分	搬入量 (t)	決算額 (円)
津市全域	一般廃棄物	32,015	535,501,237
	産業廃棄物	39,667	
松阪市の一部	一般廃棄物	955	

ア 施設改修工事

破碎処理施設の安全性の向上のために石綿除去工事を行った。

工事名	施工場所	工事内容	事業費 (円)
破碎処理施設改修工事	白銀環境清掃センター内	建屋内石綿除去工事	28,224,000

イ 整備工事

第1期処分場跡地の公園整備に伴い、駐車場進入路の整備を行つた。

工事名	施工場所	工事内容	事業費 (円)
第1期処分場跡地整備工事	白銀環境清掃センター内	舗装面積 447m ²	3,387,294

ウ 設置工事

白銀環境清掃センター周辺の防犯性の向上のため、防犯灯設置工事を行った。

工事名	施工場所	工事内容	事業費 (円)
白銀環境清掃センター周辺防犯灯設置工事	津市片田井戸町地内（県道片田井戸・久居線）	防犯灯照明器具の設置工事（9灯）	157,500

担当 西部クリーンセンター
クリーンセンターおおたか
白銀環境清掃センター

決 算 額	財 源 内 訳			
	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,524,383 円	円	円		6,524,383 円

1 新最終処分場建設推進事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	10,452,000 円 6,524,383 円 62.4 %
----------------	------------------------	---------------------------------------

白銀環境清掃センターの逼迫により、新最終処分場の早期建設が津市の最重要課題になっていることから、候補地の地元住民の理解を得ることを最優先に、市長をはじめ市幹部により地元懇談会での意見聴取を行った。また、業者への業務委託により、最新技術を導入したごみ処理・処分のあり方について調査研究を行った。

(1) 地元懇談会の開催

候補地の地元である中村町、三ヶ野区の住民との信頼関係の構築を図るため、下記のとおり地元懇談会を開催し、意見聴取を行った。今後も、早期に理解が得られるよう、引き続き交渉に当たっていきたい。

中村町懇談会

開催日時：平成18年9月2日
開催場所：中村町公会所
参 加 者：地元住民 43名

三ヶ野区懇談会

開催日時：平成18年10月29日
開催場所：三ヶ野集会所
参 加 者：地元住民 35名

(2) 新最終処分場処理方式検討業務実施事業

新最終処分場の建設に当たり、最新技術の導入による環境に配慮した安全かつ安心できる最終処分場の処理方式を検討するまでの基礎資料とするため、業務委託により、現在のごみ処理・処分の状況から将来のごみ排出量を予測し、新最終処分場のあり方を複数ケース検討した。また、当該検討結果の報告書については、市ホームページへの掲載、本庁、各総合支所等での縦覧等、広く市民に周知できるよう努めた。

委託業務実績

区 分	委託先	決算額 (円)
新最終処分場処理方式検討業務委託	中日本建設コンサルタント(株)	2,310,000

検討ケース

区 分	将来予測の考え方・産業廃棄物の取扱い方針
ケース1	現在のごみ処理・処分の状況を変更しない場合
ケース2	ごみ減量の数値目標を達成し、産業廃棄物を一部受け入れした場合
ケース3	ごみ減量の数値目標を達成し、産業廃棄物を受け入れしない場合

最終処分場の規模等

区 分	埋立量 (m ³)	設置面積 (ha)		概算工事参考価格 (億円)	
		オープ	クローズド	オープ	クローズド
ケース1	約950,000	13.4	12.2	240	270
ケース2	約560,000	8.3	8.1	150	160
ケース3	約400,000	6.3	5.8	100	110

(3) 新最終処分場処理方式検討委員会の設置

新最終処分場処理方式検討業務委託の実施に当たり、専門的、学術的立場から助言を受けるため、3人の学識経験者による検討委員会を設置し、3回の会議を経て市長に意見書が提出された。また、検討委員会は公開で行い、市民が自由に傍聴できるよう配慮し情報の公開に努めた。

第1回新最終処分場処理方式検討委員会

開催日時：平成18年12月26日

主な内容：津市のごみの現状について

傍聴者：13人

第2回新最終処分場処理方式検討委員会

開催日時：平成19年1月30日

主な内容：津市にふさわしい処理方式について

傍聴者：20人

第3回新最終処分場処理方式検討委員会

開催日時：平成19年3月8日

主な内容：第1回、第2回委員会の議論のまとめ

津市のごみ行政への意見具申について

傍聴者：19人

担当 新最終処分場建設推進課

款 4 衛生費

項 4 清掃費

目 4 し尿処理費

決 算 額	財 源			内 訳
	国県支出金	地 方 債	その 他	
902,537,233 円	136,054,000 円	273,500,000 円	41,914,228 円	451,069,005 円

1 し尿処理事務事業

予算現額 37,191,000 円
事業決算額 33,208,030 円
予算執行率 89.3 %

し尿等収集運搬業車両貼付用許可シールや浄化槽清掃検量票の印刷、災害により浸水した便所のくみ取り業務に対する委託料の支出等、し尿処理全般にわたる総括事務を実施した。

また、し尿くみ取りの申込み受付業務及びくみ取り手数料の集金業務を実施している津衛生事業協同組合へ運営に係る補助金を交付し、適正な指導を行った。

担当 環境政策課

2 し尿処理施設管理運営事業

予算現額 453,313,000 円
事業決算額 422,707,038 円
予算執行率 93.2 %

市内から発生したし尿及び浄化槽汚泥を安芸・津衛生センター、クリーンセンターくもず及び衛生中継所の3つの施設において、それぞれ陸上処理、又は海洋投入処分にて適正な処理・処分を実施するとともに、効率的で安全な施設の運転管理及び維持管理を行った。

(1) し尿処理施設管理運営事業（衛生中継所）

衛生中継所の効率的な運転管理を実施し、施設及び設備の保守点検をはじめ適正な維持管理を行うとともに、三重県廃棄物処理公社所有の第二三洋丸により、し尿及び浄化槽汚泥の海洋投入処分を実施した。なお、当施設については、廃棄物処理法施行令の改正に伴う海洋投入処分の禁止を受け、平成18年11月30日に業務を終了し、平成19年1月31日をもって閉鎖した。

し尿及び浄化槽汚泥の処理状況

処理対象地域	区分	搬入量 (kl)	決算額 (円)
津市の一 部	し尿	2,758	110,256,934
	浄化槽汚泥	11,409	

(2) し尿処理施設管理運営事業（クリーンセンターくもず）

クリーンセンターくもずの効率的な運転管理を実施し、施設及び設備の保守点検をはじめ適正な維持管理を行うとともに、津市（久居、一志、香良洲、白山、美杉地区）及び松阪市（嬉野地区）の家庭などから排出されたし尿や浄化槽汚泥の処理を衛生的かつ適正に行った。

し尿及び浄化槽汚泥の処理状況

処理対象地域	区分	搬入量 (kl)	決算額 (円)
津市の一 部	し尿	11,373	174,847,219
	浄化槽汚泥	18,310	
松阪市の一 部	し尿	3,294	174,847,219
	浄化槽汚泥	2,309	
鳥羽志勢広域	し尿	363	

(3) し尿処理施設管理運営事業（安芸・津衛生センター）

安芸・津衛生センターの効率的な運転管理を実施し、施設及び設備の保守点検をはじめ適正な維持管理を行うとともに、津市（津、河芸、芸濃、美里、安濃地区）の家庭などから排出されたし尿や浄化槽汚泥の処理を衛生的かつ適正に行った。

し尿及び浄化槽汚泥の処理状況

処理対象地域	区分	搬入量 (kl)	決算額 (円)
津市の一 部	し尿	13,896	137,602,885
	浄化槽汚泥	30,395	

担当 環境政策課
安芸・津衛生センター

3 し尿処理施設整備事業

予算現額 446,873,500 円
事業決算額 446,622,165 円
予算執行率 99.9 %

し尿及び浄化槽汚泥の海洋投入処分の禁止を受け、陸上処理にて対応するために、循環型社会形成推進交付金事業として、平成17年度・18年度の2か年をかけて、施設設備改造工事を実施した。

(1) 安芸・津衛生センター施設設備改造工事

平成17年度・18年度の2か年の継続事業（総額：660,450,000円）として、処理能力の増強及び放流水質の安定・向上を図るための施設設備改造工事を実施し、平成18年12月に完成了。

処理能力：157kl/日→188kl/日

処理方式：高負荷脱窒素処理+高度処理→膜分離高負荷脱窒素処理+高度処理

工事名	施工場所	工事内容	事業費(円)
安芸・津衛生センター施設設備改造工事	安濃町妙法寺	浄化槽汚泥脱水機新設 膜分離設備新設 脱臭設備改造	440,443,500

担当 安芸・津衛生センター

款 4 衛生費 項 5 産業廃棄物処理費 目 1 産業廃棄物処理費

決算額	財源内訳			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
20,624,415 円	円	円	238,500 円	20,385,915 円

1 施設管理運営事業	予算現額 22,654,000 円 事業決算額 20,624,415 円 予算執行率 91.0 %
------------	---

津市南部産業廃棄物処理施設は、中央浄化センターから排出される汚泥を埋立処分するものであり、各設備の運転管理や保守点検業務、また放流水の水質管理を徹底するなど、適切な管理運営を行った。

施設維持管理業務委託

委託名	委託場所	委託内容	事業費(円)
南部産業廃棄物最終処分場運転・維持管理業務委託	雲出長常町地内	処分場の機械設備、電気設備等の運転及び維持管理業務の委託	11,875,500
南部産業廃棄物最終処分場水質試験業務委託	雲出長常町地内	処理槽から放流する放流水や、埋立処分場周辺地下水の水質試験等の業務委託	2,300,415

担当 下水道施設課

款 4 衛生費 項 6 簡易水道費 目 1 簡易水道費

決算額	財源内訳			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
278,900,000 円	円	円	円	278,900,000 円

1 簡易水道事業	予算現額 287,267,000 円 事業決算額 278,900,000 円 予算執行率 97.1 %
----------	---

簡易水道事業特別会計への繰出金で、特別会計における簡易水道の統合整備事業と未普及地域解消事業の推進のための建設改良に要する経費及び公債費負担に要する経費などに対して繰出を行った。

担当 環境政策課

款 4 衛生費

項 7 上水道費

目 1 上水道費

決 算 額	財 源			内 訳
	国県支出金	地 方 債	そ の 他	
67,717,000 円	円	円	円	67,717,000 円

1 上水道事業

予算現額	67,749,000 円
事業決算額	67,717,000 円
予算執行率	100.0 %

水道事業会計への繰出金で、水道事業の経営基盤の強化を図るため、水道事業に統合される前の簡易水道事業に係る公債費負担に要する経費に対して繰出を行った。

担当 環境政策課

款 5 労働費

項 1 労働諸費

目 1 労働諸費

決 算 額	財 源			内 訳
	国県支出金	地 方 債	そ の 他	
186,756,360 円	13,600,000 円	円	138,232,097 円	34,924,263 円

1 労働者対策事業

予算現額	166,698,000 円
事業決算額	166,545,608 円
予算執行率	99.9 %

労働者団体への助成、中勢地域中小企業勤労者福祉サービスセンターの福祉共済事業を促進することにより中小企業等への労務改善対策、勤労者福祉に係る対策を図った。また、勤労者の福利厚生に関する融資制度の活用促進を図った。

(1) 労働者団体助成

中勢地区労働者福祉協議会等の勤労者福祉事業に対し補助金を交付し、勤労者の自主的な教養・文化・福祉向上、地域活動の向上を図った。

(2) 中勢地域中小企業勤労者福祉サービスセンター福祉共済事業促進

中小企業の従業員並びに事業主が協力して行う福祉厚生事業に対し補助金を交付することにより、中小企業の勤労者の福祉の向上を図るとともに、雇用の安定と中小企業の振興及び地域社会の発展と活性化に寄与した。

サービスセンター加入事業者数・会員数

平成19年3月31日現在 590事業所 6,182名

(3) 融資制度活用促進

東海労働金庫に対して協調融資を行い、勤労者の融資窓口を確保し、勤労者の福利厚生を図った。

担当 商工労政課

2 勤労青少年ホーム管理運営事業

予算現額	10,937,000 円
事業決算額	10,125,935 円
予算執行率	92.6 %

勤労青少年の福祉の増進と健全な育成を図ることを目的として、各種教養講座を開講し、勤労青少年が生活を豊かにする教養を身に付けたり、サークル活動を通じて仕事の余暇を楽しく過ごすことで、明日への勤労意欲の増進を図った。

勤労青少年ホームの利用状況

利用人数（人）			開館日数（日）	登録者数（人）
男	女	合計		
800	4,072	4,872	245	255

定期教養講座 16講座名

英会話（初級・中級）、華道、ジャズダンス、手編み、着付け、抹茶、煎茶、写真、手話、タップダンス、料理、書道、アートフラワー、フラワーアレンジメント（初級・中級）

担当 商工労政課

3 勤労者福祉センター管理運営事業	予算現額 11,201,000 円
	事業決算額 10,084,817 円
	予算執行率 90.0 %

幅広く勤労者の福祉の増進と勤労意欲の高揚を図ることを目的として、広く勤労者一般の方々に会議・研修や教養の場を提供することで、勤労者福祉の増進を図った。

勤労者福祉センターの利用状況

使用件数（件）	利用者数（人）
1,819	41,001

担当 商工労政課